

品質協の穿孔研修会(東京・大阪)に参加

去る9月8日に東京都下水道局蔵前庁舎(主催:東京都下水道局、共催:一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会)及び9月14日に大阪市津守処理場(主催:一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会)にて開催されました穿孔研修会に参加してきました。

今回の研修会の目的は、管路更生工法における品質確保の課題の一つとして「取付け管口の仕上げ不良」があり、取付け管の穿孔作業から取付管口の仕上げ状況の確認



までを一定の条件下で行い、各更生工法協会の技量の確認と判定をし、各更生工法協会が実施する技能研修会にフィードバックすることを目的として行われました。



当協会におきましては、東京(8工法協会13チーム参加)・大阪(7工法協会14チーム参加)に各3班ずつ参加。あらかじめ指定されて方法で作製されたパルテムS Z工法施工後の模擬配管を使用し、取付管の穿孔から取付管口仕上げを決められた時間内(90分)で行いました。

現在、一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会殿で各工法協会で作成したサンプルを集め評価中(穿孔分科会)で、近日には結果の発表がなされる予定となっています。



研修内容

TVカメラ、穿孔機、取付管カメラを用い規定モデル管の取付管口を90分以内に仮穿孔～仕上げを実施。

○配管 ヒューム管φ250

2本使用。取付管φ

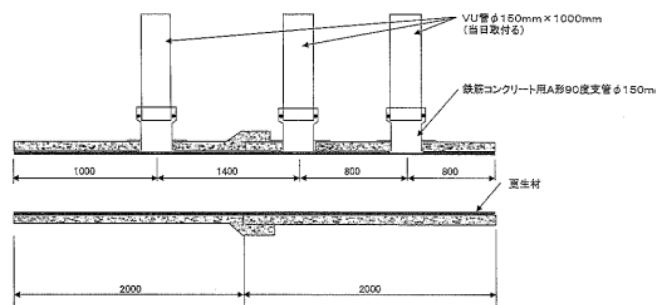
150×3箇所

○更生材厚みの条件

土被り 2.0m

活荷重 T=25

掘削幅 管幅



来場者 東京 約200名

大阪 約130名

パルテム技術協会